

時はROCK

～ 69回だからロックというテーマにしようと思ったけど
さすがに安易かな～

第69回常盤祭実行委員長 大野 健人（循環環境工学科3年）

初めまして。第69回常盤祭で実行委員長を務めた大野健人です。昨年11月17日に開催された第69回常盤祭の報告をさせていただきます。数日前までは雨の予報が出ており、不安を抱えつつ11月17日を迎えましたが、当日は運よく好天に恵まれ大盛況をおさめることができました。また同日に開催された工学部ホームカミングデーも2回目ということで本部受付ではより多くの人にパンフレットを受け取っていただき、常盤祭に興味を持ってくださる方が増えたと実感うれしく思いました。

さて、今回の常盤祭のテーマは「時はROCK～69回だからロックというテーマにしようと思ったけどさすがに安易かな～」でした。第69回という数字から「ROCK」という言葉を使用し、サブテーマも設けましたが、意味はそのままです。今までの常盤祭にはない大胆さと親近感がわくように思っていました。

今回の常盤祭は数多くの新しいことに挑戦したと感じております。チケットの販売やミ

スターコンのような新企画の立案等に挑戦したのですが、多くの困難に直面しました。これまでの仕事に加え、新たな仕事の追加によりうまく仕事を回すことができず苦しみました。しかし同年代や先輩の助けもありなんとかやり遂げることができました。最後まで私についてきてくれた実行委員の皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。

常盤祭を開催するにあたり多くの研究室やサークル、地域の皆様に模擬店やステージ企画に参加いただきましたこと、多くの企業に協賛いただきましたこと、また多くの学生や教職員、学生係、常盤工業会、教育後援会、山口大学基金事務局の皆様にご支援いただきましたこと常盤祭実行委員を代表して心からお礼申し上げます。

最後になりましたが、今年度も常盤祭への変わらぬご支援、ご協力をお願い申し上げます。これからも常盤祭が続いていき、より大きなものになっていくことを願っています。

